



北海道帯広養護学校グランドデザイン（2023）

学校教育目標

令和5年4月1日

明るく、豊かに、たくましく、自ら考え、社会に生きる人を育てる

目指す児童生徒の姿

- 学んだことを生活に活かせる児童生徒
- 自分のことばで、理解・表出できる児童生徒
- 自分で考え、やりたいと思える児童生徒

目指す学校の姿

- 共に学び、共に育つ学校
- 「児童生徒と学び 保護者と学び 地域と学ぶ」
- 児童生徒が通いたいと思える(学びのある)学校
- 保護者が通わせたいと思える(信頼される)学校
- 地域が共に育てたいと思える(貢献する・開かれた)学校
- 教職員が働きたいと思える(協働する・学び合う)学校

目指す教職員の姿

- 児童生徒の自主性・主体性を重視した指導のできる教職員
- 主体的に取り組み、学び続ける教職員
- 児童生徒、保護者、同僚と共感・共同し合える教職員

児童生徒の状況

- 知的に障がいのある児童生徒が在籍している。
- 社会生活経験や体験が少ない。
- 対人コミュニケーションを指導目標としている児童生徒が多い。
- 身体障がい、病虚弱、視覚障がい、聴覚障がいなどの重複障がいのある児童生徒が25%在籍している。
- 医療的ケアが必要な児童生徒が4.9%在籍している。
- 訪問教育学級に在籍し在宅で学ぶ児童生徒が1.3%及び病院で学ぶ児童生徒が2.7%在籍している。
- 寄宿舎で生活している児童生徒が6.7%在籍している。

令和5年度 重点教育目標

- 児童生徒一人一人の障がいの状態や特性に応じた授業力及び実践力の向上に努める。

何ができるようになるか？ (学校の基本)

- 学んだことを社会生活に活かせる力を育てる。
- 自分の思いを伝えられる力を育てる。
- 自分から取り組める力を育てる。

何が身に付いたか？ (学習評価)

- 個別の教育支援計画
- 個別の指導計画(通知表)
- 個別の移行支援計画
- 個別の生活指導計画(寄宿舎)

何を学ぶか？ (教育課程の編成)

- 教科等を合わせた指導、教科別の指導、総合的な学習(探究)の時間、特別活動、自立活動、特別な教科道徳
- 各教科の関連性をもたせた教科横断的な視点の指導計画
- キャリア発達を意識し、12年間を見通した系統性のある指導計画

どのように学ぶか？ (教育課程の実施)

- 社会生活に活かすための基礎・基本の習得
- 主体的対話的で深い学び
- 交流及び共同学習
- 地域貢献活動
- 寄宿舎生活

実施のために必要なこと

- 教務、舎務、事務、保護者、関係機関との連携・協力・協働(対話による情報共有、具体的な行動の明確化)
- 「できた・やれた、伝わった、分かった」を重視した授業
- ICT機器を活用した授業改善と研修
- 地域人材を活用した学習の導入
- 社会に開かれた教育課程の実施

令和5年度 重点実践事項

1 安全・安心な学校

- ・人権尊重
- ・防災及び感染防止

2 教育課程の編成・実施

- ・キャリア発達支援、12年間の系統性

3 地域との連携

- ・地域人材の活用・地域貢献活動

4 ICTの効果的な活用

- ・ICTを活用した教育実践と研修

5 働き方改革の推進

- ・効果的で質の高い教育活動に向けて

6 情報発信の充実

- ・タイムリーさ
- ・分かりやすさ